



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年7月18日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

論点 誰のための五輪か

21日(水)＝オピニオン面



東京オリンピックが開幕します。一部の競技は21日から始まり、開会式は23日に行われます。政府の五輪のスローガンは、これまでコロコロと変わってきました。「東日本大震災からの復興五輪」から、大会の1年延期が決まった昨年3月に

「コロナに打ち勝った証し」となりました。今月9日には、加藤勝信官房長官が「子どもに夢と希望を与える大会」に変えたことを発表しました。新型コロナウイルスの感染拡大で、ほとんど競技は無観客での開催となり、選手団と国民の交流も制

限されます。過去に例のない大会に大義はあるのか、誰のための五輪なのか。識者に聞きました。

【写真説明】菅義偉首相との会談を終え、記者団の質問に答えるIOCのトーマス・バウハ会長（左）。右はジョン・コーツ副会長＝首相官邸で2021年7月14日、竹内幹撮影

特集 ワイド

スポーツライター

小林信也さんに聞く東京五輪

21日(水)＝夕刊特集ワイド



新型コロナウイルスのリバウンド（感染再拡大）の中、東京オリンピックの開幕が迫っています。コロナ禍の直撃で大半の会場が無観客となり、「スポーツの意義や哲学について議論をやり直すべきだ」と説くのが、テレ

ビの情報番組などでおなじみのスポーツライター、小林信也さん（65）です。資本と政治の論理に支配され、コロナ禍に翻弄（ほんろう）され続けた東京五輪のこの1年に関して、小林さんと一緒に振り返りました。



東京五輪 連日の特集面

19日(月)～23日(金)＝運動面

そこが聞きたい



東京五輪とコロナ予防

20日(火)＝オピニオン面

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下の23日、東京オリンピックが開幕します。ワクチン接種の途上にある日本で感染を最小限に食い止められる手立てはあるのでしょうか。聖路加国際病院（東京都）で感染管理

室マネジャーを務め、「人が集まればリスクは高まる。正確な情報を得て最善の選択を」と呼びかける坂本史衣（ふみえ）さん（53）に、日常生活で心がけるべきことなどを聞きました。

東京オリンピックが23日に開幕します。開会式に先立つ21日午前、全33競技の先頭を切つてソフトボールが福島県営あづま球場で始まります。紙面では連日特集を組み、19日は大会中の新型コロナウイルスの感染対策について、20日

は競技日程と会場を特集します。21日には日本代表の選手名鑑を掲載し、22日は東京五輪開催決定から8年のできごと・歩みをたどります。開幕日の23日は活躍が期待される国内外の注目選手を紹介いたします。

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

個性ある書棚を眺めるのが好きで、時間が空くと、そういう趣がある書店に立ち寄り、新しい本の紹介も、す。新聞の書評欄も、実は、毎日の新聞、週刊誌、月刊誌、季刊誌、年刊誌、夏樹静江、阿部知二、寄藤文平氏が紙面デザインを手がけています。そのお二人が24日午後7時からオンラインイベントを行います。裏話が聞けますので、QRコードからお申込みください。（中本慎二）

